

## 市長コメント

本日、防衛省中国四国防衛局から、川上弾薬庫において、1991(平成3)年から2009(平成21)年までの間、PFOS を含む泡消火薬剤を使用した消防車の点検及び訓練を行っていたという使用履歴等が、米側から得られたとの回答がありました。

弾薬庫での使用履歴等が明らかとなったことは、これまでの本市の調査結果を踏まえると、川上弾薬庫から流れ出る水の汚染の原因となり得る蓋然性が高いものと言えるのではないかと考えています。

本市におきましては、地下水の濃度が暫定指針値を超過した地域の世帯に対して上水道への接続支援を実施しており、市民の安全、安心な生活を担保するよう努めております。

また、河川・地下水等のモニタリングも実施し、継続的な水質の監視を行っているところです。

米側に対しましては、これまで国を通じて要望しておりますとおり、水質・土壌調査の実施と数値の公表、原因が弾薬庫内にあると考えられる場合の対応方針の公表などについて、引き続き要望してまいります。

また、国においては、市民の安全、安心のために PFOS 等の毒性、健康影響等に関する情報の提供と検出された地域における実態調査の実施、PFOS 等の発生源特定調査・汚染除去等の対策に係る具体的な方法の提示、本市の取組みに対する支援等について、早急に対応いただくよう併せて要望してまいります。

令和6年9月6日

東広島市長 高垣 廣徳